

繋げよう! 安心、安全、信頼の輪

Z E N S H O K Y O

全 商 協

全国遊技機商業協同組合連合会広報誌

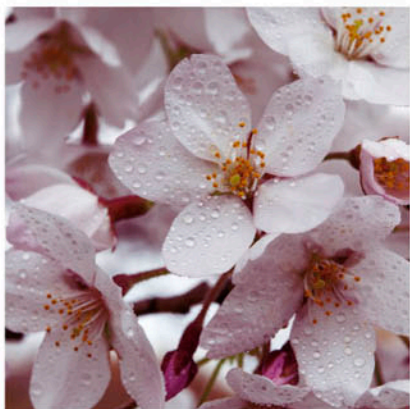
4 APRIL
2013

VOL.13



中村会長講演■適正な中古機流通業務を守るために…
特別インタビュー■金沢全求日工組副理事長

Z E N S H O K Y O
全 商 協
全国遊技機商業協同組合連合会広報誌
 CONTENTS 4 APRIL 2013
 VOL.13



日本人は桜が好きだ
 もちろん、その美しさは言うまでもないが
 寒さを耐え抜く健気さ、
 まるで散るために咲くような
 はかなさ、切なさ、そして潔さ…
 遠くから観ても近づいて観ても
 やっぱり桜が好きだ

1 特集 取扱主任者の心がまえ

中村昌勇会長講演「適正な中古機流通業務を守るために」

特別対談 機械対策
委員会委員長 増田裕之 × セキュリティ
委員会委員長 山本達彦

5 役員さん登場！ 荒谷博文 理事

8 東北遊商で東日本大震災【2周年】追悼式を開催 理事会報告

10 達つあんの辛口コラム

11 特別インタビュー 金沢全求 日工組副理事長

14 地区遊商だより Vol.9

16 NEWS 遊技機アワード2013表彰

17 業界NEWS・編集後記

特集

取扱主任者の心がまえ



適正な 中古機流通業務を 守るために…

中村昌勇会長 講演内容 (一部抜粋)



中村会長は、
2月25日に開催されました
千葉県遊技業協同組合主催の
店長講習会において講演し、
中古機流通システムの現状や
適正な中古機流通を守るための
遊技機取扱主任者の取組みを説明し、
ホール経営者・管理者の皆様に
健全な中古機流通システムの
運営・維持に向けて協力を訴えました。
講演の内容について
紹介させていただきます。

中古機流通事業は、平成12年
6月1日より現在の中古機流通
システムがスタートし、今年で
13年目を迎えました。

3年前にルールが改正され、
点検後はビニール袋に入れて保
管したり、撤去遊技機明細書や
中古遊技機確認書という書式が
加わった時にも「中古機流通の
システムは販社だけでは成り立
ちません。ホール経営者、取扱
管理者の皆様のご理解とご協力
が必要です」とお話をさせてい
ただきました。

元々、遊技機取扱主任者と共に
営業所の管理者も一緒に納品設
置時の点検業務を行って、間違い
のない機械であるという事を確
認した上で受渡書を交換する事
になっております。受渡書を交
換した後、その機械は営業所に
おける管理責任となります。

つまり、どのような機械であ
れ、機械を受け取って(受渡書に)
サインをしてしまった以上、営
業所の責任になります。

「いやいや、これはあそこの機

械屋で買ったんだ」という言い訳は通りません。

中古機流通システムは、行政とのお約束の元に始まっているわけですから、本当に管理者の責任というのは大変なものであると思います。一歩間違えれば色々な処分が下される事になりますが、これは販社も一緒です。

また、この中古流通システムは、今やホール営業にはかせない戦略だと思っています。

新台ばかりを買ってお店を運営出来るといふ営業所は、中々あり得ないのではないのでしょうか？

やはり中古機をうまく運用した上で、遊技場経営が成り立っているのではないかと思います。我々も「責任を果たすことによって皆さんのお役に立てる」という事で色々な行動をとっております。

例えば年中このような研修を行って、また実技指導まで行っております。

口だけで言うのではなくて実際に機械を診て、本当に点検が出来たのかどうか？出来ないのであれば主任者の資格をはく奪し、営業所に出入りさせない。これが組合としての責務であると思っています。ですから皆様のお店に伺っている主任者は必ず点検が出来た方が行っています。

しかし、点検が出来ないにもかかわらず点検をしていない。また、管理者がさせていない。こういった人はどうしたら良いのでしょうか？

この場合は確信犯ですから排除です。その主任者の資格をはく奪し、その販社は除名です。

もうこれしかないです。きちんと作業を行って皆様のお役にたっている人達を守る為には、確信犯は排除するしかありません。皆様のお店に行っている主任者はきちんとやっているのだと思います。ですから事故など起きておりません。しかし点検確認をしていないような不正行為

が起きますと、やはり中古機流通事業の存続に大きな影響が起きます。

皆様が一緒に協力していただければ、販社は除名になりません。また、きちんと点検確認をしない販社に対しては、皆さんが「していないだろう？そんな奴は出入り禁止だよ」と、そういうふうに厳しく言っていたいただければ気づいていない人間は気づくはずですよ。

逆に「いいよ、やっつくよ。早く帰れよ」と言われてしまう。このシステムは守れません。ですから管理者の皆様をお願いしているのです。

我々は自らも厳しく律しております。このシステムを守る為には必死です。

皆様の役に立つために、我々一生懸命やっているわけです。それで対価をいただいているわけですよ。

役に立たないのにお金をいただいているわけではありません。

役に立っているから皆さんも我々に支払いをするのだと思います。そのためには我々も役に立たなくてはならないのですから、厳しく日頃から色々な修練を積んでいるわけです。

そこまで我々は自分達を律した上で皆様とお付き合いさせていただいているという事をご理解いただきたいと思います。

ぜひ、お店に帰られて販社の主任者や担当の方がいらっしゃいましたら、きちんと今日の話を伝えていただき、自分のお店に出入りしている主任者がきちんと仕事しているかどうか？確認をしていただきた上でお付き合いしていただきたいと思っております。

本当に心からお願いでございます。あと5年、10年、15年と長くこの業界のこのシステムが皆様のお役にたつためには、皆様と協力して何とかこの制度を守っていききたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

特別対談

機械対策委員会 委員長 増田裕之
セキユーリティー委員会 委員長 山本達彦

全商協では、遊技機取扱主任者が行う遊技機の点検確認作業について、作業技術の確認とスキルの向上を目指しております。

昨年度、全商協傘下の組合員販社に所属し、中古機流通業務に従事する遊技機取扱主任者約4000名全てを対象として実務者講習会の受講を義務付け、講習会を各地区遊商が実施しました。

この講習会につきましては、機械対策委員会とセキユーリティー委員会が合同となって起案・実施し、新年度はさらなるレベルアップを図る為、全国統一の審査基準や試験内容の確立、模範試験官の育成等を行う予定です。そこで、こうした取組みの陣頭指揮を執るキーマンの2人にお話を伺いました。

責任とプライドを持ったプロとしての仕事を期待



「取扱主任者の心がまえ」を説く増田委員長



実技講習会について説明する山本委員長

司会 まず、昨年度に開催された講習会について教えてください。

増田 昨年、各地区遊商では、取扱主任者の方々に実際の遊技機を使って、点検確認を行ってもらい、試験官がその技術を試験する講習会を実施しました。また、同時に筆記試験も行い、実務知識の確認も行いました。

実機を使った試験というのは、一部の地区遊商を除いて初めての組合もあり、とりあえず第1回目をやってみたという感じですね。

山本 そうですね。九州遊商では、約550名の取扱主任者を対象に、人数をふり分け、6日間にわたり講習会を開催しました。

最初にオリエンテーションを10分、その後20問の筆記試験を10分、さらにひとりにひとりの試験官がついて、実技試験を25分かけて行い、最後に筆記試験の回答や解説をしました。

増田 規模の違いはありますが、各地区の講習会の流れは、おおむね同じです。

しかし今回は、その講習の内容や構成は各地区で様々でした。27項目の点検確認項目を映像化

したDVDを作成した組合や、ペンライトではなくレーザーポインタを使用した組合もありました。

遊技機をビニール袋に梱包する作業まで確認する組合もありましたし、そこまでは行わないという組合もありました。

山本 筆記試験の内容も各地区で異なっていましたね。

合格判定も、20問中14問正解で合格とか、全員で答え合わせを行っただけとか地区遊商により差がありました。

司会 先日、機械対策委員会とセキユーリティー委員会の合同委員会がありました。この会議の目的を教えてください。

山本 昨年、私は全商協のセキユーリティー委員長として全国各地の講習会を視察してまいりました。皆、真剣に講習を受けて大変良かったと思うのですが、やはり地域によって試験の方法や実技試験官の可否の判定基準に差があると感じました。

そこで来年度からは、全商協として統一的な講習内容で活動できるようにしなければならぬと思います。全商協の理事会にその活動を提案し承認していただきました。

そのための仕組み作りを委員会の垣根を越えて、機械対策委員会とセキュリティ委員会が協力して検討することとなり、合同委員会を開催しました。

増田 そうですね。まず、その第1歩として実技試験を行う試験官の育成をすることとしました。東遊商には、事務局内に健全化推進室という組織があって、5名の専門知識のある試験官がいます。

しかし組合によって規模や予算も違いますので、すべて東遊商と同じようにするわけではありませんが、各組合が協力して知識や知恵を出し合い、統一したスキルも持つ試験官を育成したいと思っています。

山本 良い試験官が育成できれば、取扱主任者のスキルもアップしていきます。

試験官の講習は、2年目、3年目と続けて行い、将来的には他団体の協力も得ていければと願っています。

司会 その試験官の育成について、具体的な計画はあるのですか？

山本 はい。まず3月を目途に各地区遊商より2名の試験官を選抜していただき、1か所に集まって

研修を実施する予定です。そこで、試験官同士で知識の共有をはかり、実技試験の可否の判定を統一して勉強していただくつもりです。できればこのような機会を年に2〜3回設け、講習を実施していければと思います。

増田 東遊商では、試験官に遊技機を全て手で分解し、再度組み立てを行うことができるように指導しています。

やはり試験官ですから、こうした基本知識は必要です。また、なぜ取扱主任者が間違ったのか？どうして理解されていなかったのか？といった事についても適切な指導が出来るようにしていただきたいと思っています。組合で実施する講習会は、試験の可否ではなく、あくまでも各主任者が、確実に点検作業が出来て、さらにスキルアップ



合同委員会はテレビ会議も活用された

を目指すことが目的ですから、その過程の指導が大事だと思います。

司会 筆記試験については、どのように考えていますか？

山本 各地区で工夫して問題を作っています。これも統一すべきだと考えております。私達、役員は任期がありますので、いずれ人が代わるかもしれませんし、また選ばれたとしても、同じ委員会の委員を委任されるかどうかわかりません。しかし、委員が代わっても、統一した講習を行うことが組織として必要です。

増田 スピードを持って、早急に進めていくつもりです。

司会 本日はお忙しい中、ありがとうございます。最後に全国の取扱主任者の方々へメッセージをお願いします。

山本 取扱主任者は、日遊協の試験に合格しただけでは保証書を書くには充分とは言えません。車の免許と同じで、ペーパードライバ―では意味がないのです。組合で、その点をしっかり自主講習していかなくてはいけないと思っています。ですので、取扱主任者の皆様もぜひ、日々スキルアップを心がけ、プロとして仕事に取り組んでほしいと

思います。

増田 ひとりの誤った行動が、全国の取扱主任者の信用をなくすことになる事もあります。私たちは中古機流通制度の中で、取扱主任者が作成する「保証書」に対する信頼を守る必要があります。皆さんは、心がまえとして取扱主任者であることに責任とプライドを持ってほしいと願っています。



打合せをする山本委員長（左）と増田委員長



機械対策委員会・セキュリティ委員会の合同委員会

学生の頃からパチンコに真剣に取り組んでいた荒谷博文理事は、「機械屋がパチンコを打たなくてどうする」が持論で、今でも毎日のようにパチンコを打ち続けている。パチンコを「天職」とまで言い切る裏には、今の業界を立て直さなければならぬ、という熱い想いが込められている。

役員さん登場!

天職のパチンコを通じて、メーカーとホールのパイプ役に

荒谷博文

全商協理事・関西遊商副理事長

1日12時間、
パチンコに熱中した
大学生時代

「私の天職はパチンコ」と公言して憚らないのは、大丸商事株式会社の荒谷博文社長。その心は「大好きなパチンコに毎日携われる」。

仕事と趣味と実益を兼ねている」と胸を張る。

今年50歳の荒谷社長のパチンコ好きは、大学時代まで遡る。4年生の時、就職も内定していた。後は卒業という時に2単位足らずに留年。次の1年間は、それはそれはパチンコ三昧の日々を送っていた。



た。

「大学の近くのパチンコ屋さんを根城にしていました。朝の10時から閉店まで12時間打ちっぱなしです。それこそ食事も摂らないで、缶コーヒー一本で打っていました。当時はブラボー10の全盛期。ストップボタンをどのタイミングで押すか、攻略方法を実践しながら独自に解析していました。するとかかるパターンがだんだん分かってきました。店からは『来るなどとはわからないが、ブラボーは1日5回までにしてくれ』と懇願されたほどです」

パチンコが終ると今度は、仲間が集まって夕方まで麻雀。10時になるとパチンコ店へ「出勤」。就職活動もしないで、パチンコと麻雀に明け暮れる1年間を過ごしていた。物静かな風貌とは違って、腹巻に札束を忍ばせるような学生でもあった。

そんな時、前年に内定をもらった会社から「一度遊びに来ませんか」と電話が入る。出向くと入社内定者の懇親会会場だった。テーブルには自分の名札が用意されていた。自動車メーカーに就職する

ことを希望していたが、販社の社長の人柄に惚れ込み、ディーラー系のホンダベルノ店へセールスマンとして就職することになる。

「社長が『お客さんが嫌がる飛び込み営業はするな』というタイプの人でした。当時はプレリユードを扱っていたので、お客さんの方から買いに来てくれました。それこそ、まだローンも組めないような若い人も買いにきていました。それでローンが組めるようにするのが仕事でしたね」

水曜日の休みが縁で 機械販社の 社長令嬢と結婚

自動車ディーラーの定休日は、毎週水曜日だった。友人が紹介してくれた女性は、百貨店勤務で偶然にも水曜日が休みだった。休みが同じ曜日なのでデートもできる。こうして付き合いが始まったのが、大丸商事の社長の娘さんだった。

ディーラーのセールスマン時代も毎日のようにパチンコを打っていた。するとある日「そんなにパチンコが好きなら、私の実家の仕事を手伝わない？」と誘われた。一人娘で跡継ぎがいなかった。結

婚に向けて話はトントン拍子に進む。

「社長は『仕事は見て覚えろ』というタイプなので結婚が決まってから、休みの日には大丸商事へ出社して、事務所でメーカーの人と話をしながら仕事を覚えていきました。昔はパチンコ機を作っていたことも初めて知りました」

平成2年3月に結婚。披露宴はホールオーナーやメーカー、販社の業界関係者が多数招かれ盛大に行われた。招待客は新郎側が1に対して新婦側が5というような割合だった。業界の重鎮も招かれていたが、社名を聞いてもまったくピンと来なかった。

同年9月、大丸商事に娘婿として入社する。同時に社長から通帳と印鑑を渡される。当時は業界も右肩上がりの時代。機械の整備と設置に追われる毎日、寝る間もないほどの忙しさだった。ホール側の月の支払いが、1〜2億円にもなる取引先もあった。当時はまだ法人組織になっていなかった。銀行で小切手を現金化し、メーカーへの支払いが現金で行った。紙袋に詰めた大金を運ぶのが役目だ

った。

釘も覚えようと努力した。ところが、左利きはガラス枠を開けた時、非常に不利な体勢で叩かなければならない。そのために断念した。

平成6年に法人化と同時に2人代表体制で社長に就任する。

天職の パチンコで 業界に恩返し

組合活動に参画するようになって10年。現在は関西遊商で副理事長、全商協では事業・広報副委員長を務める。

販社の立場は、ホールやメーカーのように表舞台に出ることもなく、業界では黒子的な存在である。「一般の人がもっと手軽にパチンコができて、パチンコ人口を増やすためには、メーカーには魅力があって遊べる機械を作りましょう、ホールには出玉を還元できる努力をしましょう、といえるのがホールとメーカーのパイプ役でもある販社の立場だと思います」

これを具体化しようと奔走しているのが関西遊商の和久田守彦理事長だ。関西の2府4県の遊技業

いつも人懐っこい笑顔を絶やさない、温厚で真面目な性格の副理事長。事務所スタッフの誰に聞いても「良い人」という返事が返ってくる朗らかで、おおらかな人柄は、誰からも好かれ尊敬されている。総務委員長としての役割もキチンとこなし、仕事に対して厳しいが、スタッフへの気配りも忘れない。おしゃれでいいものを何気なく着こなし、一人旅を愛し、グルメ好きの美食家でもある。練習嫌いのゴルフはブービーメーカー候補ながら、ばちんこ好きは本物で、寝る間も惜しんで打つタイプです。

関西遊商

荒谷博文副理事長トリビア

血液型	O型
座右の銘	石の上にも3年
好きな絵画	特になし
好きな色	ブルー
好きな音楽	サザンオールスターズ
好きなスポーツ選手	王 貞 治
好きなタレント	スティーブ・マックイーン
好きな歴史上の人物	豊 臣 秀 吉
カラオケ十八番	六甲おろし
趣味	読書、旅行
将来の夢	御 隠 居



HIROFUMI ARATANI

組合の理事長に声を掛け、膝を突き合わせて、腹を割って話ができる場を持つことから始めた。

「ホールさんが困っていることを聞き出し、改善できるところは改善していく。まずは、話し合いたいことには、ホールさんが困っていることも分かりません。そういうスタンスですから、ホールさんもメーカーさんもそれぞれの立場で自由に意見を出し合っていたらいい。その中から妥協点を見つけ出すのが関西遊商の役割だと思っています。組織同士の意見交換を活発に行いたいと考えています。その中から皆さんに都合がよいことを実現することが最終目的です。それが業界の繁栄につながればいい」

今でも毎日パチンコを打っている荒谷社長は、販社としてではなく、ユーザーの立場でも意見がえることが強味だ。

そんな荒谷社長が名機と太鼓判を押せるのは、「負けても納得のできる機械」だという。ただ、最近では負けて納得ができる機械が少なくなっているのも、事実。最近の名機を挙げると次のような結果となった。

- 1 平和「シティーハンター」
- 2 高尾「カイジ」
- 3 藤商事「リング」

いずれもゲームの流れが決まっていなくて、ゲーム性の奥深さを感じるといいます。

「機械屋がパチンコをしなくてどうするが持論です。だから、パチンコを打つことも仕事だと考えています。毎日ホールでパチンコを打っているから見えてくるのが、お客さんの流れであり、お客さんの心理状況です。好きこそ物の上手なれ、という言葉があるように、今の仕事は天職だと思っています。仕事としてパチンコをさせてもらって幸せです」

※

2男1女の子供にも恵まれ、長男は今春大学に入学した。子供が生まれた頃はキャッチボールをすることが夢だったが、それは遠の昔に果たせた。次は子供の運転する車に乗ることだったが、長女が運転免許を取ってこれも果たせた。新たな夢は大学に入学した長男と一緒にパチンコを打つことだ。

東北遊商 東日本大震災 【2周年】追悼式を開催



献花を行う高橋理事長

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から2年が経過し、3月11日東北遊商では、「3・11東日本大震災【2周年】追悼式」を行った。

会場となった東北遊商会議室には、祭壇が設けられ、被害にあった地域や慰霊塔の写真を飾った。高橋理事長はじめ、歴代理事長・

役員・事務局員一同が出席し、献花を行った。

地震が発生した午後2時46分、全員で黙祷を行い、犠牲者に祈りを捧げた。

高橋理事長は、犠牲になった方々に対して哀悼の意を捧げ、さらに次のように式辞を述べた。

本日ここに、東日本大震災により犠牲となられた多くの人びとの御霊に対する追悼式を挙行するにあたり、東北遊技機商業協同組合77社の組合員を代表し、哀悼のこゝとばを申し述べさせていただきます。

平成23年3月11日、突然の地鳴りとともに押し寄せた大地震は、私たちの平和な日常生活を一変させるに至りました。

東北地方太平洋沿岸部は、殊の外甚大なる被害を受け、ふるさどが一瞬にして津波にのみ込まれる等、多くの方々の尊い命を奪ったばかりでなく、福島県浜通り地区では、原発事故の誘発により、現在もなお、計り知れない悲しみを私たちに与えています。

現代文明が誇る高度な科学技術でさえ、予知できえなかった地震発生日の特定とその規模は、“想定外”という言葉では語り尽くせない、まさに自然の脅威を私たち人間に知らしめた究極の教訓と言わざるを得ないと自らに言い聞かせてきた2年間です。

私たちは今、生かされたこの身を改めて大切にすることで、生きることの使命や責任について正面



全国遊技機商業協同組合連合会の応援協力の下に建築された南三陸町の「西戸集会所」





高橋理事長より奉読が行われた



菅野初代理事長（前列中央）・渡邉4代目理事長（前列右）も出席

から向き合って行くことが、多くの精霊に対する哀悼の念と敬愛につながるものと深く心に刻む次第です。

震災から2年が経過しました。

その間、私たち東北遊商では9月に宮城県南三陸町西戸地区の応急仮設住宅で暮らす地区住民からの要請を受けて、全国遊技機商業協同組合連合会の応援協力の下、約60名が参加した『西戸集会所』の建築と『戸倉の小屋っこ』前広場における地元住民の方々との触れ合いイベントを実施しました。南三陸町は震災後、人口の流出に歯止めが効かず、復興の速度にも影響を及ぼしているようで、『集会所の完成は住民間の連携強化につながる』と区長さんから感謝の言葉をいただき、意を強くしたところです。

このほか、全商協のご理解と後押しによって、宮城県内の震災遺児らの育英資金を『あしなが育英会』に贈呈することも出来ました。こうした震災復興支援活動は、『地域に根ざした娯楽の提供』を標榜する遊技業界の一員としては当然であり、まして地元東北地区を商圏とする私たちにあって「地

域とともに寄り添って」を合い言葉に、地域社会との絆がこうした活動に込められているものと強く自覚し、今後も時機に応じた復興支援活動を継続してまいる所存ですので、どうか犠牲となられた多くの方々に於かれましては衷心より

りご冥福をお祈り申し上げ、式辞といたします。

平成25年3月11日

東北遊技機商業協同組合

理事長 高橋一則

第7回理事会

開催日 平成25年2月18日（月）

開催場所 全商協 会議室

出席人数 理事本人20名

議題と審議結果・主な報告内容

①機歴管理システム用サーバのハードウェア保守等について

機歴管理システム用サーバのハードウェアに関する保守契約の更新について、事務局より提案があり、可決承認された。但し、契約更新期間は本年9月まで、それ以降については再度協議する。

②第82回中古機流通協議会の報告について

平成24年11月、12月の中古機流通の稼働実績について報告をした。主基板の不正改造の事例などについて、実際の主基板を用いて説明があった。

以上の報告を受け中村会長より、各地区の取扱主任者は、確

実な点検確認を行い、もし不正が発見された場合は、必ず組合を経由して全商協まで報告することを徹底してほしいと依頼があった。

③その他

・遊技機リサイクル推進委員会の報告

遊技機リサイクル業者選定要綱等の改正について協議した。

第8回理事会

開催日 平成25年3月19日（火）

開催場所 全商協 会議室

出席人数 理事本人20名

議題と審議結果・主な報告内容

①各委員会の報告について

セキュリティ委員会より、実技講習会等の統一について進捗状況の報告があった。

全商協の職員退職手当規程及び職員就業規則の改正案が示され、可決・承認された。

達つあんの辛口コラム



阪神・藤浪、日本ハム・大谷という黄金ビッグルーキーコンビの動向を中心に盛り上がったキャンプ。続いて侍ジャパンがV3に挑んだWBC。そして両リーグ開幕。プロ野球ファンが待ち望んだ球春も一気に真つただ中へ突入したね。そこで一足早くセ・リーグを中心とした順位予想にチャレンジしてみたい。

昨年、日本一に輝いた巨人の圧倒的優位は揺るがない。だが、死角はある。投手陣では昨年終盤に故障した杉内がフルシーズン活躍出来るか。沢村、宮国、ホルトンも盤石とはいえず、柱に期待出来るのは内海だけ。打線も4番・阿部が徹底的にマークされるのは

確実。打撃不振となれば捕手だけにリードにも悪影響を及ぼす恐れもある。無理矢理そうは並べ立ててみたものの、やはり連覇の可能性が高いと結論づけざるをえんがね。

むしろ問題は2位以下だろう。有利なのは広島と見るね。もちろん出身チームだけに多少のひいき目にはなるが、イチオシは投手陣。エースのマエケンを不動の柱に、

大竹、野村が続く、何よりもバリントンの出来が素晴らしい。ミコライオ、今村と抑えも充実している。打線も新外国人ルイスと復調した栗原が軸になれば破壊力は数段アップするじやろう。

3位にはヤクルトを推す。リーグ1の試合巧者は健在。ここ数年は層の薄さに泣いて後半戦に息切れしたが、今年はカムバックした岩村の存在が大きい。宮本との三塁併用がベースでも、一塁、二塁も守れることで故障者のカバーはお任せというものよ。

4位は阪神。福留、西岡、コンラッドが加わった打線は素晴らしいが、投手陣には不安要素が多い。メジャー移籍した守護神・藤川の穴は久保が埋めるが、先発の枚数が足りない。中継ぎも柱が見あた

らず、長丁場を乗り切れるかどうかには、疑問符がつくね。

5位は中日。11年連続してAクラスを確保したチームには失礼な予想じゃが、根拠は黄色信号が点滅するストッパー。頼みの浅尾は故障再発への怖さがぬぐい切れず、ベテラン岩瀬も衰えは隠せない。野手陣もレギュラークラスの高齢化が進み、チーム全体として過渡期にさしかかった印象だ。

6位は今季もDeNA。「順位を3つ上げる」と宣言している中畑監督には申し訳ないが、大きな戦力補強を行ったものの一気浮上は難しいと見る。中日からごっそり引き抜いた格好のブランコ、ソト、ソーサは間違いなく戦力アップの材料だが、いかんせん投手力が弱い。レギュラー定着が期待される若手捕手の高城がどこまでリード出来るかがカギを握りそうだ。一方のパ・リーグは近年まれに見る超混戦。全球団に優勝のチャンスがあるし、逆に最下位に沈む恐れもある。あえて順位を挙げればソフトバンク、ロッテ、楽天、西武、日本ハム、オリックスとなるか。それぞれに一長一短あるが最大の注目は伊東新監督が率いるロッテ。常勝軍団の司令塔、指揮

官として何度も日本一に輝いただけに「勝ち方」を熟知してる。台風の目は糸井、平野を獲得したオリックスと、ジョーンズ、マギーが加わった楽天。ともに得点力は大幅アップしているだけに目が離せなん存在じゃね。

最後にゴールデンルーキーの活躍を占う。阪神・藤浪は1軍の先発ローテーションの一角を担うだけの力量がある。昨年のソフトバンク・武田のように登板間隔を開けて使ってやれば必ず結果を出すはずだ。日本ハムの二刀流、大谷は藤浪と比較すると完成度で劣る。しかし、潜在能力は藤浪以上と思われる逸材。夢の二刀流挑戦も楽しみじゃが、私ならまずは投手として育てるね。160キロの剛速球を投げる素材は減多に見つからんし、王さんのように投手挑戦から野手へ転向しても十分に間に合うからじゃ。こんな独断予想がどこまで当たりますか。

達川光男●たつかわ・みつお
1955年7月13日、広島県出身、57歳。広島商では73年夏に全国制覇。東洋大を経て78年、ドラフト4位で広島入団。捕手として84、86、88年にベストナイン、ゴールデングラブ賞を獲得するなど活躍し92年に現役引退。95年ダイエーコーチ、98年広島2軍監督を経て、99年から2年間広島監督。03年阪神コーチ。現スポーツ報知野球評論家、フジテレビ・プロ野球解説者として活躍中。

特別
インタビュー

金沢全求

日本遊技機
工業組合

副理事長

——早速ですが、パチンコの現状に対する認識からお話いただけますか。

金沢 その前に一言よろしいでしょうか。私は学校を卒業した昭和52年4月に三洋物産の子会社であるモナミ商会に入社しました。そこで3年間、中古機の整備や清掃などの業務に従事したのが業界での初仕事でした。このモナミ商会は中古機を取り扱い、中部遊商に加盟している会社です。そのため全商協や各地区遊商に対してはとても親しみを感じています。

——それは存じ上げませんでした。が、そのお気持ちは嬉しいですね。では、改めましてパチンコを取り巻く環境からお話をお聞きます。現在はセブン機が主流ですね。

ファン人口の大幅な減少など、厳しさの増している遊技業界。この参加人口の回復に向けては、ファンに喜ばれる遊技機の開発に邁進するメーカーの力が重要となる。そこで、遊技機メーカーが加盟する日工組の金沢全求副理事長に、遊技業界の現状や参加人口の回復に向けて何が必要なのか、様々なテーマで話を伺った。

金沢 ご指摘のように、現状ではホール様に設置されているパチンコの90%以上はセブン機となっています。一昔前であればハネモノや権利物、また電役物がありました。が、現在は確率物とでもいいましょうか、スタートチャッカーに

玉が入って液晶やデジタルが動き、数字が揃えば大当たりというゲーム性が主流となりました。

——セブン機のみというパチンコの状況ですが、業界全体ではファン人口の減少が深刻となっています。昨年発刊されたレジャー白書では、参加人口が1250万人と報告されました。

金沢 昔ならセブン機で負けたらハネモノを打つとか、ファンが自分の懐具合をみて遊技機を選べたのですが、現状はセブン機しか選択肢がない状況と言えます。そして、そのセブン機がファンにとって手軽な遊技ではなくなっています。そうなりますと、やはりファン人口の減少は、パチンコが大衆娯楽から少し離れてしまい、手軽に遊べなくなったことが原因だと言えます。

——例えば、以前ですとハネモノが初心者入門機との位置づけだったと思います。

金沢 そうした点は日工組内でも議論をしています。そこで、手軽に遊べる仕様を含めて多様なゲーム性のある遊技機の開発を進めていこうと話合っています。

——そして、ファン人口の減少は

食い止めなければなりませんね。

金沢 遊技機を製造している立場としては、ファン人口の回復を図るにはファンに面白い、遊びたいと思わせる遊技機の開発に尽きると思います。これは永遠のテーマとなりますが、これからも全力で

カーの立場として 人口の回復を図るには ンに喜ばれる遊技機の に尽きます

● 略歴
かなざわ・ぜんきゆう
1954年生まれ。愛知県出身。
名城大学商学部卒。
1977年 藤三洋物産入社。
2005年 同社専務取締役。
2012年 代表取締役副社長。
2010年5月から日工組副理事長。
2012年6月、日遊協副会長就任。

進めていきます。また、ファン人口は減っていますが売上は微減となっています。これは現在パチンコを遊技している方にヘビーユーザーが多いことを表しています。この状況は業界の先々を考えた時にとっても心配ですね。ただし、心配ばかりしても何も始まりませんので、今はファン人口の回復を図るために遊技メーカーとホール様が真剣に話し合

い、若年層へのアピールなど各団体が連携して一丸となって取り組む必要があります。

——次にECO遊技機が注目されています。昨年から関係団体への説明を始められました。

金沢 例えば不正対策では、遊技球を鋼製から他の素材に変更する予定です。それにより磁石を使用した不正行為はできなくなり、循環機構により遊技球が払い出されない仕様となりますのでピアノ線やセルによる不正行為も抑止できます。また、来年から消費税が5%から8%に上がります。

現状の遊技機の払出機構では消費税増税に対応するのに難しい面もありますが、そうした問題もクリアできます。いずれにしても、全日遊連を始め関係団体からご要望も伺っていますので、各団体の理解を得るために努力すると共に、システムの導入後に問題が発生しては困りますので様々なテストをしている段階です。

——また日工組では不正対策やリサイクルの推進にも取り組んでいます。

金沢 不正対策ではICタグの導入により、2層ロムなど主基板の不正改造は確実に減っています。

これは遊技産業健全化推進機構からもその様に伺っています。

——不正対策に効果があったわけですね。

金沢 そうです。これまで日工組では常に不正されにくい機械の開発に努めてきました。しかし、現実的には不正をゼロにするのは困難です。それでも何か不正が発見されたら早急に対処できるように努力し、色々と工夫を重ねています。

——一方、遊技機のリサイクルでは、過去に野積みや中国への輸出など諸処の問題がありました。

金沢 日工組では遊技機回収システムを構築し、リサイクルの促進や不法投棄の撲滅に取り組んでいます。また各メーカーによる下取り制度もあり、大方の遊技機がリサイクル処理できる体制は整っています。確かに以前は野積みや不法投棄などの問題はありましたが、現在は回収システムや各メーカーの努力もあり大きな問題は起こっていません。しかし、最終的な行き先が判明できない遊技機があるのも事実ですので、これから機歴管理システムを構築して流通経路の把握を徹底したいと考えています。その際には、ホール様や販売業者様の協力が不可欠となります。

—— 中古機流通について伺います。

金沢 私は遊技機が中古機として流通するからこそ新台が売れると考えています。例えば、自動車では燃費の良い車種や車好きなら飽きたので買い換えるなど、動かなくなったから新車を買う人は少ないでしょう。これは中古車として流通するからこそ新車が売れているわけです。これは遊技機でも同じです。ですから、遊技機メーカーとして中古機流通の必要性は認

メーカー参加 フェア開発



識しています。

—— 最後に、全商協及び各地区遊商の組合員に対する要望や期待する点がありますか。

金沢 全商協は中古機流通協議会から打刻業務を委嘱され、また組

合員の中には代理店や代行店の契約を結んで遊技機メーカーの“看板”を背負っているところもあります。これらはメーカーが新台や中古機の流通をお任せできるという“信頼の証”ですね。ですから、

信頼されている気持ち忘れずに、日々の業務に責任感とプライドを持ってほしいと思います。また、日工組としては、今後も全商協と連携しながら流通の健全化に向けて努力していきます。

東北遊商

東北遊商では、3月末に東北6県の児童養護施設へ寄付金を贈るために、高橋理事長はじめ、役員等が各地を訪問した。

訪問先は、岩手県「一関藤の園」、秋田県「市立県南愛児園」、青森県「藤聖母園」、山形県「双葉荘」、福島県「県社会福祉協議会」、宮城県「丘の家子どもホーム」の6か所。寄付金はそれぞれ50万円で合計300万円となっている。

今回で6度目となるこの寄付は、今期の予算に組み込まれており、組合員の満場一致の賛成を受けて実施されたもの。

高橋理事長は「東北遊商では、このような社会福祉関連への貢献事業を以前から推進しています。今回は、中部遊商さんもこの活動にご賛同いただき、寄付のためにご同行いただいた」と感謝の言葉を述べた。

東北6県の児童養護施設へ寄付

北遊商

北海道遊商は、このほど使用済みの切手550グラムを、神戸市にある「誕生日ありがとう本部」に贈った。

「誕生日ありがとう本部」とは、誰にでも年に1度めぐってくる誕生日に、自分が今日生かされているありがたさを感謝するとともに、ハンディキャップのある人たちのことを共通の問題として考えようという、民間の草の根福祉運動を行うNPO法人。使用済み切手や使用済みプリペイドカードなどを集め、福祉活動に役立てる「誕生日ありがとう運動」を推進している。同法人は1965年に発足し、北海道から沖縄まで、遠く海外からも運動に参加する人いるという。

北海道遊商では、この運動を知り、組合員にも呼び掛け、使用済みの切手を集めたもので、今後もこのような取組に協力していく予定だ。

誕生日ありがとう運動に協力

地区遊商だより



中国遊商

中国遊商は、2月21日に広島市所在のホテルチュールリッヒ東方2001において、組合に所属する代表者を中心に約65人が出席して、中古遊技機の流通に関するオーナー研修会を開催した。

最初に、広島県警察生活環境課の三戸田課長補佐から、中古遊技機の流通に関して、確実な点検確認の実施や廃棄遊技機の適正な処理などについて講話があった。続いて、二上セキュリティ委員長が、昨年開催した取扱主任者実技研修の開催結果の総評や誤りの多かった試験項目について解説などを行った。

二上委員長は、「今日は、組合のオーナーの皆様に出席して頂き、中古遊技機流通制度の重要性について再認識して頂くとともに、中古遊技機の取扱いに当たっては、各販社に所属する取扱主任者に対して、具体的かつ的確な指導を行って頂くようお願いをした」と研修会の目的を述べた。



オーナー
研修会を
開催

関西遊商

関西遊商では、平成24年12月7日から10日まで、2回目となる東日本大震災復興支援ボランティア活動を実施した。

今回は、リサイクル・環境対策委員会の総田委員長を団長として16人が参加、宮城県本吉郡南三陸町で民家に残った瓦礫などを撤去した。作業は、南三陸ボランティアセンターのリーダーにより割り振られ、個人で参加しているボランティア約20人とともにいった。前夜に降った雪が地面に残るなか、各自がスコップを片手に生活用品や瓦礫を拾い集め種類ごとに分別し、トラックなどにのせて集積地まで運んだ。

参加した和久田理事長は「前回訪れた時と被災地の現状は全く変わっていない。しかし、ボランティアなどの参加者が減ってきていると聞いた。関西遊商では、今後も社会貢献活動の一つとして被災地の復興支援を継続していかなければならない」と力強く話した。なお、次回は4月12日～15日の予定で準備を進めている。

2回目の南三陸ボランティア



中部遊商

中部遊商は昨年、名古屋市から「エコ事業所」の認定を受けた。

これは、環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に行っている事業所に対して名古屋市が認定を行い、その取組を支援するというもの。認定を受けるには、『名古屋市 エコ事業所認定制度』に基づき、環境活動のレポートなどを添えて申請する。名古屋市は、その内容をもとに、リサイクルの推進、緑化の推進など細かく評価を行い、評価基準が一定レベル以上であれば、認定を行う。認定されると、認定証と認定プレートが交付され、エコ事業所のロゴマークを名刺や印刷物に使用できる。

この認定を申請することにした経緯について、山川リサイクル・環境対策委員長は、「中部遊商では、河川敷の清掃やエコドライブ講習会など様々な環境対策を行ってきました。それらの活動に対して公共的立場から評価いただきたいと思い、認定申請を行いました。エコ事業所に認定されたことは、組合としても今後の活動の励みになると思います」と語り胸をはった。

エコ事業所に認定



東遊商

東日本遊商では2012年、創立50周年を迎えて、記念式典等祝賀の行事を行ったが、それらの紹介も含めた記念誌『50年の歩み』を編集し、同年11月に発行した。

A4カラー200ページにも及ぶ記念誌は、中村理事長と推進機構の河上代表の特別対談や歴代理事長対談、組合の活動報告など多彩な内容となっている。さらに目を引くのが、「幹」と題した組合員を紹介するページだ。組合員1社ずつの代表者の顔写真を載せ、それぞれが手書きの文字で、創立50周年にあたりコメントを寄せている。また、記念式典やチャリティゴルフコンペの様子などを紹介したDVDも2枚付けて、ビジュアルとしても記録を残した。

中村理事長は、「節目となる50周年にふさわしい記念誌となりました。制作を担当してくれた皆様に感謝します」と関係者を労った。

**50周年
記念誌が
完成**



Vol.9

九州遊商

石山理事長は、かねてより「今の中古機流通制度は、ホール管理者の皆様の協力が不可欠」との考えを示していた。

その一環として、3月14日にグランド・ハイアット・福岡で開催した九州遊商のスキルアップ研修会に、今回初めて福岡県遊協に案内をしたところ、ホール関係者42人がオープン参加した。

また、九州遊商からは、組合員であるオーナー及び各社の中古機流通に携わる担当者183人が出席した。

研修会の内容は、理事長の挨拶に続き、福岡県警察本部生活安全部生活保安課の担当官が「中古遊技機流通制度について」の講話を行い、次にDVDを用いて㈱ジーティーネットの担当者が点検確認研修を行った。

参加したホール関係者に行ったアンケートでは、「ばちんこ遊技機の点検確認研修」については、役に立ったが70%で、少し役に立ったが30%。九州遊商は今後も引き続き、ホールの組合員に対しても中古機流通制度の啓発と協力依頼を行う予定である。

ホール「管理者」に対して協力を依頼



四国遊商

四国遊商では、かねてよりNPO法人「遍路とおもてなしのネットワーク」に協力して、四国内の各地にミカンなど実のなる木を植え、お遍路さんに食べてもらう接待木「実のなる木活動」を行っている。

今年も3月末に、愛媛県内の4か所に合計で53本の植樹を行う予定だ。4年目となる今回は、木を植えた後の管理をしてくれる愛媛県の高中生や松山の中学生、高松の高校生など約20人から、植樹を手伝いたいと申し出があった。

四国遊商からも日野理事長はじめ約15人が参加して、総勢約35人で活動をする。

日野理事長は「“実のなる木活動”が、どんどん広がっています。遍路とおもてなしのネットワークのホームページにも、四国遊商の活動を紹介してもらっています」と話した。

広がる“実のなる木活動”

遊技機アワード2013表彰

2012年に導入された遊技機の中で、幅広い顧客から支持を得たと思われる遊技機や、記憶に残る遊技機を表彰する「遊技機アワード2013」が3月18日、東京都新宿区の「ホテルハイアットリージェンシー東京」において開催された。主催は日遊協、後援は全日遊連、同友会、PCSA、余暇進。

表彰式には、パチンコ、パチスロ団体の13団体の代表が来賓として臨席した。

表彰式には、パチンコ、パチスロ団体の13団体の代表が来賓として臨席した。

に喜んでもらえるかを考え、切磋琢磨して開発している」とし、そうした遊技機を「適正に」

使用することが業界活性化につながるという考えを述べた。

主催として挨拶した日遊協の深谷友尋会長は「アワードはメーカー

に対して感謝の念の表れ。これから素晴らしい遊技機をお客様に提供してもらいたい」などと語った。



金沢全求副理事長は「アワードはメーカーとしてはありがたく喜ばしい賞。我々は、ホール側にい

挨拶に続いて、遊技機アワードを発表。パチンコ部門の大賞は「CR大海物語2 With アグネス・ラム」(遊パチタイプ部門)、「CRぱちんこAKB48」(遊パチタイプ以外部門)、「一方のパチスロ部門では、「ニユーアイムジャグラーEX」(ノーマルタイプ部門)、「バイオハザード5」(ノーマルタイプ以外部門)が選ばれた。また特別賞では、パチンコ部門では「CRぱちんこAKB48」に搭載された「RTC機能を用いた全台一斉演出」機能、パチスロ部門が「モンキーターン」に搭載された「自力解除型ゲーム数テーブル方式」が選ばれた。

「大賞」の選出方法は、2012年に導入開始された遊技機の中で、幅広いファンから支持を得たと思われる機種をホール関連5団体の会員企業によるweb投票で決定するというもの。一方、「特別賞」は、遊技機メーカーからエンタリーのあったもので2010年以降導入となった遊技機の「新機能」のうちから、会員企業のweb投票の結果をもとにして「特別賞」として遊技機委員会が決めた。



表彰式後の懇親会で乾杯の首領をとる中村全商協会長

編集後記

■初夏の空気を感じられる昨今の陽気に、素直に喜んでいる。暖くなるとスポーツを好む、好まぬに関係なく誰もが身体を動かしたくなるもの。そして華麗に逞しく、高度な技とパワーを発揮して楽しませてくれるプロのスポーツ選手たちには、これからが勝負の季節だ。プロ野球ファンにとっては開幕が待ち遠しい、楽しいな時期でもあります。オフシーズンに英気を養っていた各チームの選手たちが、自主トレに始まって、解禁のキャンプインで話題の選手も登場して、紅白戦、オープン戦と続き次第にムードが盛り上がっていくのが例年の習いだ。

■今年はさらに野球の国・地域別対抗戦、第3回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)が開催されたこともあって、一段と関心が高まっていた。ところが、山本浩二監督率いる侍ジャパンは、メジャーリーグで活躍しているイチローらを加えないチーム編成で、準決勝でカリブ海の強豪、プエルトリコに敗退してしまった。野球の本場での大一番に、プレッシャーに襲われたのか、頼みの投手陣も、調子を上げてきた打線も、ともに本来の力を出せないまま決勝進出を逃してしまい、期待された3連覇の夢も消えた。

■とはいえ、野球大好きな日本、春の選抜高校野球も開幕(3月22日)前から、出場校による甲子園練習が始まってスポーツメディアの紙面を賑わしていた。3季連続優勝を目指す大阪桐蔭(大阪)をはじめ、済美(愛媛)、安田学園(東京)、浦和学院(埼玉)らが注目されていた。プロ野球のオープン戦も各地で熱戦を繰り広げて、話題の大物ルーキーも登場するなどして、セバ両リーグとも賑やかになってきた。評論家の方々によるメディア向け順位予想も気になるところだ。小誌コラムの達川光男氏も優勝候補の差替えをされていた。(S)

NEWS

全日遊連加盟店舗の実態調査

全日遊連に加盟する全国の営業店舗数は、昨年12月末時点で1万1177店舗。年末に新規オープンが重なったことで前月比22店舗のプラスとなり、4か月ぶりに増加に転じた。しかし、今年1月末は1万1171店舗と6店舗の減少。2月末も1万1137店舗と前月比マイナス34店舗と2か月連続の減少となった。依然としてホール店舗数の減少傾向は続いている。昨年からの遊技機の設置台数では、パチンコは280万4496台(昨年12月末)、280万5774台(今年1月末)、279万8348台(2月末)で推移。2月末時点で55か月ぶりに280万台を割り込んだ。一方のパチスロは143万6842台、144万1076台、144万1295台と増台を維持。

持。23か月連続で増加している。

型式試験の指定機関が2団体に

国家公安委員会は2月4日付で「風俗営業等の規制及び業務の適性化等に関する法律第二十条第五項に規定する指定試験機関を指定する規則の一部を改正する規則」を公布し、同規則の表に一般社団法人遊技機試験機構(名古屋市中東区)を追加。同日施行された。これまで国家公安委員会規則等に基づき遊技機の型式試験業務などを行う指定試験機関は、一般財団法人保安通信協会(保通協)の1団体のみが指定されていたが、国家公安委員会は風営法第20条第五項の規定に基づき、遊技機試験機構を指定する規則改正を行った。これで同法令により指定される指定試験機関は2団体となる。

ホール駐車場における「子どもの車内放置撲滅キャンペーン」

ホール駐車場等における子どもの事故防止対策には、遊技業界全体で取り組んでいるところだが、このたびはホール5団体(全日遊連・日遊協・同友会・余暇進・PCSA)は、「子どもの車内放置撲滅キャンペーン」を行う声明をだし、車内放置による子どもの死亡事故の根絶を目指すこととした。

具体的には、つぎの5つの取り組みを各ホールで徹底する。

▼1時間に1回以上の駐車場巡回と、店内放送の徹底▼最悪の場合は、窓ガラスを割る等の内容とする、人命救助優先を第一とした対策▼店舗責任者および従業員へ防止対策の周知▼ホール、駐車場にて「お子様連れでの来店禁止」の表示▼新聞折込みチラシ等、広告宣伝での告知





<http://www.zenshokyo.jp/>